



# 隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小  
～ 明日が楽しみな学校をめざして ～」

隈府小学校  
学校だより No.21  
文責 芹川博文  
10月9日(金)

## 100日の軌跡

～ 隈府小の子どもたちの前期を振り返って ～

前期の登校日数は、6年生が100日、1～5年生が、99日でした。一日の変化は目に見えなくとも、4月当初と比べると、確実に心も体も大きく成長した子どもたち。保護者の皆様、地域の皆様に支えていただきましたこと、本当にありがとうございました。前期の隈府小学校を振り返りたいと思います。

### 自ら考え なかまと高め合う 隈府小 ～ 明日が楽しみな学校をめざして ～

上は、今年度の隈府小学校の学校教育目標です。AIとの共存時代、自分ファーストの流れも感じる中、「自ら考え、なかまと高め合う」ことの価値は大きいと考えます。今週も児童会役員の募金活動に「応援部隊」が一緒に呼びかけていました。朝からゴミを拾う児童、花に水かけをする児童の姿が輝いて見えました。授業でも、子どもの主体性を重視した学びを目指しています。全ての活動で、自ら考え、なかまと高め合う喜びを味わう、その一つ一つが「明日が楽しみな学校」に繋がり、大人になった時に役立つ土台となることと願います。



伸びしろ：言葉遣い、判断力、相手意識

あいさつ

うんどう

きくこと

\*\*\*\*\*

次に、今年度の重点3項目として取り組んでいる、「あいさつ」「うんどう」「きくこと」について振り返ります。



あいさつは、大人も子どもも関係なく大切なものです。子どもたちを観ていると、去年は口元が動くだけだったのに、今年は目を見て声が出ている子がいます。待つことの大切さ、個々のタイミングを実感します。小さな成長を感じる瞬間が楽しみです。学校外でも、横断歩道でのお辞儀などでお褒めの言葉をいただくことも。ただ、教育アンケートの結果では、まだ「伸びしろ」があるようです。

うんどうについて。「こんなに大きな複合遊具がある小学校は珍しいですよ」と、修理に来られた業者の方が言われていました。「危ないから」「メンテが大変だから」と、体育で必要な鉄棒以外は撤去されている傾向だとか。幸い、隈府小にはたくさんの遊具があります。サッカーやバスケットなども人気です。沢山の子たちが朝から体を動かします。日光を浴びて歩くだけでも効果ありです。

きくことは、相手意識を育む上で大切です。しかし、これがなかなか難しく奥深い。私もよく反省します。授業や集会での子どもたちの聞き方は、良くなっていると感じます。常に考えながら聞く、相手の思いを汲みながら聞く、そして、自分の姿と重ねながら聞くなど、深めてほしいと願います。「聞く」が、「耳 + 目と心」で「聴く」となるように。

## 本物に触れる絶好の機会 地域の行事参加

秋休みは、地域の行事が目白押しです。10日(土)の菊池白龍まつり、11日(日)のすもう大会、そして、秋休み明け15日(木)の菊池神社秋季大祭での千本槍行列。右の写真は、すもう大会に出場する児童の練習の様子です。子どもたちの力の強さと、みなぎるやる気に驚きました。

白龍まつり、すもう、千本槍、どれも彼らが大人になった時、きっと懐かしく思い出すことでしょう。しっかり味わい、本物に触れ、感じてほしいと願います。子どもたちの感想を楽しみにしています。

